

気づけば伸ばせる学習障害

～就学から青年期にかけて、学習障害に対する気づき～

令和7年

入場無料・手話通訳あり（会場のみ）

日時

3月19日（水） 13時30分～15時
（開場13時15分）

場所

新宿区立障害者福祉センター 会議室(50名)

要予約（Zoom申込は3月17日(月)15時まで）

・予約受付 電話:03-3232-3711 FAX:03-3232-3344

・ZOOM申込み※：ssk@pluto.plala.or.jp宛に

ZoomのID等受信できるメールアドレスを記載の上お送りください。

学習障害（Learning Disabilities）をご存じでしょうか。読むこと、書くこと、計算すること等、知的な遅れは無くても、学習に困難を示す子どもたちがいます。わかるのに読めない、わかっているのに書けないなど、教室の中で彼らは、“できない”ことにただひたすら向き合っているだけなのかもしれません。

困難に対する適切な配慮があれば、彼らは情けない思いを解決することができて、わかった！できた！と笑顔を見せてくれるかもしれない。今回の講演会では、『学習障害』について基本的なお話から具体的にどのように配慮してきたか、菊田史子講師をお招きしお話をうかがいます。

講師：菊田史子



●講師プロフィール●

一般社団法人読み書き配慮代表理事。学習障害がある息子が慶應義塾高校へ進学したのを機に学習障害（LD）の社会的解決を目指して同法人を立ち上げる。LDを知る（理解）・調べる（検査）・支援するを柱に、データベース事業、セミナー・相談事業などを展開。「読み書き苦手な子供のスクールKIKUTA」は著書『読み書き困難のある子供たちへの支援～子供とICTを繋ぐKIKUTAメソッド』（金子書房,2023）でノウハウを公開している。



東西線早稲田駅より徒歩 10分
大江戸線若松河田駅より徒歩 6分
国立国際医療研究センター前バス停より徒歩 4分

※お車でのご来場はご遠慮ください。